

巣鴨中学校・高等学校 境野先生 湯朝先生

今回は、定期試験等でデジタル採点ソフト『採点ナビ』をご活用いただいている
巣鴨中学校・高等学校の境野先生・湯朝先生にお話を伺いました。

インタビュー日 2022年10月19日

※新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用でご対応いただきました。



用紙の自由度が高いこと、入試にも対応できて、安全性を担保できるインストール型である、ということが検討のポイントでした。

- ・入試での導入では、学内環境での運用が安心

____本日はよろしくお願ひします。まずは、先生方の自己紹介をお願いします。

境野先生：国語を担当しています。本校で教鞭をとって10年目です。ICTの担当をしています。

湯朝先生：担当科目は数学と情報です。本校で教鞭をとって20年目です。もともと、学校の校務・教務支援システムの導入を担当していました。

____ありがとうございます。それではまず、デジタル採点をご検討いただいた経緯をお聞かせください。

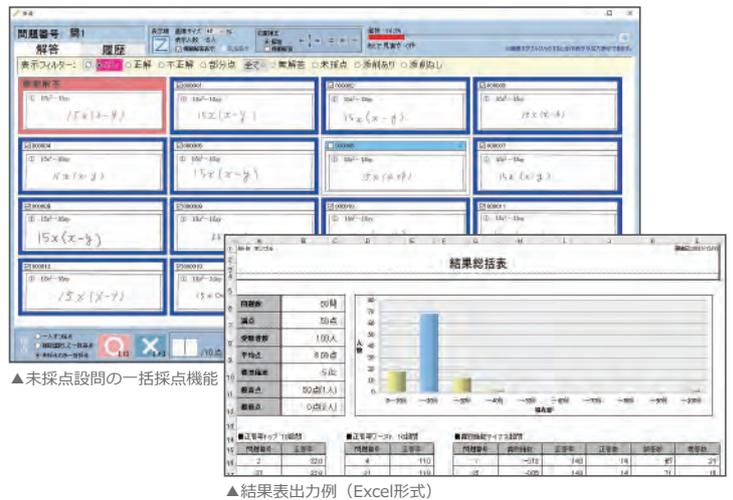
境野先生：以前に無料のマーク用のソフトを使用していたこともあり、こういった「自動化できるシステム」の有用性は気づいておりました。個人的な事情なのですが、指を痛めてしまって(笑)、少し採点がしづらくなってしまったこともきっかけでした。また、学内PCがSurfaceになったことにより、親和性が高くなった点もあります。

湯朝先生：最近では業者模試がデジタル採点を利用していることも知っておりましたので、興味がありました。展示会でも見かけることが増えましたね。特に入試の負担は大きいので、そこも見据えて検討を進めました。昨今の流れとして、「客観問題」だけではなく「記述式問題」も設けたうえで当日発表への対応があり、また、採点の時間を短縮して分析に時間を回したいとも考えておりましたので、検討を進めました。

____その中で弊社製品含めシステムを検討される際にポイントとなった点はありましたでしょうか。

境野先生：まず、用紙の自由度が高いということと、入試にも対応できて、かつ安全性を担保できるインストール型であるということはお外せませんでした。定期テストでは、答案用紙の形式が毎回異なるので用紙の自由度が高いということは必須条件でしたね。

湯朝先生：日々の使用だけでなく、入試での導入を考えると安全性・可用性についてはかなり慎重になりましたね。最近ではセキュリティも様々な意見が分かれる点かとは思いますが、やはり学内という手の届く環境で運用できるのは安心感があります。当日その瞬間にコントロールできなくなってしまうのだけは避けたいところでした。



・「採点」ではなく「分析」にしっかり時間を使える

____他の学校様もその点をご検討ポイントとして着目される点です。良し悪しというよりは、学校様ごとの考え方になりますでしょうか。その後、お試し版の活用をしていく中で、他の先生方はこのようなシステムに対してどのような印象をお持ちでしたか？抵抗感などはございましたか。

湯朝先生：若い先生は抵抗があまりないように感じますね。

境野先生：今までの採点スタイルをそのまま…というわけにはいかないので、手採点に慣れた先生がソフトに慣れるのに少し苦労されましたが、『採点ナビ』だから、ということではないですね。

湯朝先生：小計算をする必要がなくなったので、その部分に関しては逆にストレスフリーになりました。小計算のミスが必然的に起こらないこととスピード感は助かっています。小テストなどについても、「採点」ではなく、その後の「分析」にしっかり時間を使えるところが嬉しいです。

____最終的に『採点ナビ』を選んでいただいたのは、どういった点が決め手だったのでしょうか。

境野先生：決め手、という明確なものこそまでないというのが正直なところです。各会社のシステムの一長一短を見ていき、先生方の「好み」「慣れ」を最大公約数的に集約させた結果になるかと思ひます。「分かりやすさ」という点と、御社の他の製品も利用しているため、分析フォーマットに見覚えがあるというのもよかったのかもしれない。

_____ それでは、続いて導入後、利用を続けてのお話をお伺いします。特に、デジタル採点を利用するようになって良かったのは、どのような点でしょうか。

湯朝先生：数学の場合ですが、手採点のときは1枚全体を採点していたのを繰り返していました。『採点ナビ』は1問ごとに見られるので採点しやすいですし、続けて同じ問題を見るため感覚的に生徒の出来も感じられるのも気に入っています。その後、客観データとも照らし合わせられますしね。また、小計算をする時間というのが全くないので、小計算の部分での「採点ミス」は0になりましたね。

境野先生：国語に関しては、論述問題の採点時間は変わりませんでした。ただ、そこは生徒の解答と向き合う時間なので必要な時間だなという風にとらえています。漢字や客観問題はかなり効率化できています。あとは、生徒が教師の点数計算ミスを疑わなくなったので、自分の間違いだけに集中して向き合うことができているところもありがたいですね。

・1クラス5時間のテスト採点時間が、1/2以下に

_____ 実際に「効率化」という点では、どの程度寄与できておりますでしょうか。

境野先生：定期テストだと12時間かけて採点していたのですが、3～4割の短縮率で採点を終わらせることができるようになりました。

湯朝先生：1クラス5時間かけてやっていたところ、1/2以下でできるようになりました。同じ問題を採点すると採点基準もぶれないので、早く終わらせることができます。

_____ 御校には、既に入試でも『採点ナビ』をご活用いただきました。入試での準備にあたっては意識された点はございましたでしょうか。

湯朝先生：採点データをどこに置くか、複合機はどのようなものにするのか、入試当日の導線などは予め計画を立てて決めました。事前に計画をすることで、スムーズに運用を行うことができました。

境野先生：『採点ナビ』に移行することになって、最初に一齐に解答をスキャナーで読み込むという流れをとりました。そのため、採点のときに各教科で負担が増えるということはなかったです。スキャンを行う場所にはフォローする先生がいたので、効率よく運用を進めることができました。



当初はデジタル採点に難色を示していた先生方が、終わってみたらかなりポジティブに採点をしていましたね。

_____ 一齐にソフトを利用する初めての機会かと思いますが、ご不安はなかったですか。

境野先生：そこは、学内でパソコンの強い先生がフォローに入ったりしました。また、教科ごとにキーとなる先生を置いて、運用をしやすいように考えました。通常業務でもデジタル採点を始めるための後押しをすることで、多くの先生が使うということに繋がったように感じます。

湯朝先生：当初はデジタル採点に難色を示していた先生方が、終わってみたらかなりポジティブに採点をしていましたね。

_____ ソフトの機能で役に立ったところはありましたでしょうか。

湯朝先生：採点のときに、同じ問いばかり画面上に並ぶのは分かりやすいですね。間違えが起きにくい・見落としが起きにくいというところがいいところだと思います。また、採点画面で、○×の割合が少ない方を先に採点して、「未採点のみ一括採点」を行う機能は採点時間短縮に役立ちました。

境野先生：あれは画期的で、他の先生に紹介したら、すごくいいと言っていました。それと、記述の採点は採点者間のズレが出やすいので、照合採点後に再度確認するというのが非常にやりやすいと思います。

_____ 通常業務でも、入試でもお役に立ただけまして、嬉しい限りです。最後に、今後更に期待する機能などございましたら教えてください。

湯朝先生：例えば、小テストなどで積み重ねた結果を比較して、出力できたらいいなどは感じています。校務システムでもできないのではないのですけどね……。解答用紙など、テンプレート化してしまえば定期考査以外でもかなり活用ができますので、更に分析で利用したいです。

境野先生：基準採点の使い勝手が更に良くなればと感じました。生徒への返却部分や分析でも活かされると、活用の幅が広がります。

_____ ありがとうございます。より様々な用途でデジタルならではの効果を実感いただけるように、今後も改善を進めてまいります。改めまして本日は貴重なお時間をありがとうございました。

